学習指導案

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 日時：令和元年　月　　日（） | | 指導者： | | |
| 単元名：現代社会と健康　４．生活習慣病とその予防 | | | | 第1学年 |
| 本時の目標 | がんの発生概念や予防方法に関する学習を通して正しい知識を理解することができる。【知識・理解】  現在の自分や周りの生活習慣の問題の解決を目指して、考え判断することができる。【思考・判断】 | | | |
| 用具 |  | | | |
| 時間 | 学習内容・活動 | | 指導上の工夫、評価の観点と方法 | |
| 導入  ７  分 | 〇がんについて知っていること  ・皆の印象  ◯どっちが多いかクイズ  〇本時の目標  がんについて正しい知識を身に付け、健康で明るい未来のため、自分たちにできることを考えよう！ | | 〇アンケートを参照に最初のがんについての皆の印象を伝える。  ◯身の回りの事例と比べてがんの罹患する割合（２人に１人）が高く、身近な病気であることを印象付ける。 | |
| 展開  30  分 | ○がんの疾病概念（５分）  ・人間の体は細胞分裂を毎日しているが、その際に変異が起きてしまって悪性のものになると「がん」になる。  ・がんは血液から体中に広がる。  ◯がんの原因（５分）  ・周りの人と原因について、知っていることを交流する。  ・がんの原因の割合を知る。  ◯がんの予防方法（８分）  ・がんを防ぐ健康習慣を理解する。  ・がん予防生活チェックを行い、自分の生活がどれくらい当てはまっているかをチェックし、考察する。  ◯健康習慣３カ条（１０分）  ・自分たちのチェックシートをもとに、グループで健康習慣を考える。  ・グループでの意見を交流してクラス内で共有する。  ◯がん検診の必要性（５分）  ・感染症や、遺伝の原因にも触れながら、早期に発見し治療する意味を知る。 | | ◯がんの疾病概念について、視覚教材を活用して説明を行う。  ◯がんの原因を割合で示して、喫煙や食事、運動といった生活習慣が大きく関わっていることを理解させる。  ※感染症や遺伝などが原因の場合もあり、すべてのがんが生活習慣に関係しているわけではないことを押さえる。  ◯食生活と運動について理想的な量を示して現在の自分と比較をする。  ◯できるだけ具体的な行動になるように巡視をしながら指導する。  【評価】与えられた知識を活用し、自分にできる予防法を考えることができる。（思考判断）  ◯生活習慣に気をつけていても、がんになる可能性があることから、がん検診の大切さを伝える。 | |
| まとめ  10  分 | ◯がんについて専門的な立場から話を聞く。  ◯学習の振り返り  ・学んだことをまとめながら、将来の自分に「がん予防」に関して気を付けるべきことをメッセージとして書く。 | | 【評価】がんの予防について、学習した知識をまとめることができる。（知識理解） | |